



2007年 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン第5戦 鈴鹿サーキット

2007 予選 決勝
Formula NIPPON 7/7 SAT. 8 SUN.

鈴鹿サーキット国際レーシングコース 1周 5.807km

- 同日開催：2007年 全日本フォーミュラ3選手権 第9戦&第10戦 / 2007年 フォーミュラチャレンジ・ジャパン(FCJ) 第9戦&第10戦 / Netx Cup Vitz Race 2007 関西シリーズ 第3戦
- 主催：鈴鹿モータースポーツクラブ(SMSC) / 株式会社 モビリティランド / 名古屋レーシングクラブ(NRC)
- 公認：国際自動車連盟(FIA) / 社団法人 日本自動車連盟(JAF)
- 後援：経済産業省 / 東京中日スポーツ / 中日スポーツ / 中日新聞社

鈴鹿サーキットでは、7月7日(土)・8日(日)にフォーミュラ・ニッポン第5戦を開催。シーズンも中盤に差し掛かり、チャンピオン争いのうえでも重要な一戦となるだけに、激しい戦いとなることが予想される。今回もE席前のサーキットビジョン増設や、チームサポーターズシート、初心者向けのPit-FM「ビギナーおまかせ大放送774」など、より快適で魅力的な観戦環境をご用意！また、楽しいイベントもいっぱいなので、ファミリーで、カップルでぜひ夏の鈴鹿サーキットへお越しください。

なお、7日(土)にはプール「アクア・アドベンチャー」がオープン！こちらをあわせて、お楽しみください。



フォーミュラ・ニッポン

小暮卓史3年ぶりの優勝(第3戦)、R・クインタレッリ初優勝(第4戦)など、4戦を終わって4人のウィナー誕生！ フォーミュラ・ニッポンは近年まれに見る大接戦！



ランキングトップの松田次生

開幕戦は昨年のチャンピオンB・トレルイエ、シリーズランキング2位を獲得した松田次生、このモバイルキャスト・チームインパルの2人が他を寄せ付けない速さで1-2フィニッシュ。第2戦鈴鹿は本山哲(アラビアンオアシス・チームインパル)が優勝し、松田が2位。やはり最強インパル勢が今年もシリーズをリードするかと思われた。だが第3戦のもてぎから様相が変わり始めた。予選3番手から豪快に本山哲、松田次生のインパル勢を抜き去った小暮卓史(PIAAナカジマ)が3年ぶりの2勝目を獲得。続く第4戦は予選2番手スタートのR・クインタレッリ(INGING)が参戦3年目にして初優勝を飾ったのだ。ここに来て今年フォーミュラ・ニッポンは最強インパル勢中心の展開から、大接戦、大混戦のシリーズ争いになってきた。

もちろんインパル勢の速さ、強さは変わらない。優勝こそないものの開幕戦から2位2回、3位2回と全戦で表彰台に登っている松田次生(モバイルキャスト・チームインパル)がシリーズランキングトップに立っているのを見ても分かる。今年状況を作り出した要因は、「インパル勢以外のドライバー、チームが力をつけてきた」と言うことだ。昨年インパル勢以外で優勝を飾ったL・デュバル(PIAAナカジマ)、A・ロッテラー(DHGTムス)も、ともに今季表彰台を記録するなど健在だ。ランク上位陣の中から誰かが抜け出すのか、それとも新たな5人目のウィナーが誕生し、混戦に拍車がかかるのか。今季2度目の鈴鹿戦はシリーズの行方を決める重要な一戦となる。



左からB・トレルイエ、本山哲、小暮卓史、R・クインタレッリ

2000年の高木虎之介から7年間で6度も、夏の鈴鹿ラウンドを制したドライバーがタイトルを獲得!

後半戦を有利に戦うのがタイトルへの条件となる。そしてそのボーダーラインが第5戦鈴鹿だ。シリーズ全9戦の折り返しとなるだけに、ここで優位に立っておきたい。また出遅れたドライバーにとっても、タイトルの可能性を残すためにはここで勝っておかなければならない。最後の巻き返しにつながるからだ。それはこの第5戦で勝てば、そのデータが最終戦鈴鹿ラウンドに生かされるからだ。事実2000年に高木虎之介が第5戦鈴鹿を制してタイトルを手にして以来、01年の本山哲、02年のR・ファーマン、04年のR・ライアン、05年の本山哲、昨年のB・トレイエと、7年間で6度も夏の鈴鹿(シリーズ第4戦、または第5戦)で優勝したドライバーがタイトルを獲得しているのだ。鈴鹿で勝って後半戦に弾みをつける。そして最終戦鈴鹿でそれを再現する。まさにタイトル争いの大きなポイントとなる第5戦。夏の鈴鹿を制したものがタイトル争いに勝ち残ることになるのだ。



そのまま走り切ったほうが速いのか、ピットインが有効なのか!? 夏の太陽が43周、250kmレースの戦略を左右する!!



鈴鹿第5戦の決勝は43周、約250kmのレース距離で行われる。これは第2戦鈴鹿と同じだ。その第2戦を振り返るとほとんどのチームが途中のガソリン補給、タイヤ交換なしで走りきった。だがこのとき優勝した本山哲を始め、2位松田次生、3位小暮卓史ともにレース後語ったのは「ガソリンはぎりぎりだった」「燃費がきつくてセーブしながら走った」と言うこと。ガソリン消費を抑えるためにエンジンパワーを犠牲にした部分もあったわけだ。さらにタイヤの消耗からくるラップタイムの落ち込みを考えると、ピットインしてガソリン補給、タイヤ交換をした方が43周トータルの走行タイムは速くなるという。

第2戦が行われたのは春、第5戦は夏だ。当然路面温度は上がり、タイヤの消耗はさらに激しくなるためピットインがより有効と考えられている。ピットインなしで250kmを走りきるのが王道だが、ライバルを抜くことを考えれば、バトルしても足りるだけのガソリンと、よりグリップするタイヤがほしい。果たして夏の鈴鹿でどんな作戦が生まれるのか、各チームの戦略が勝敗の鍵を握ることになりそうだ。

F3 (フォーミュラ3)

第8戦でホンダの塚越広大が優勝!ホームコース鈴鹿からホンダ勢の逆襲が始まるか?伊沢拓也、中山友貴の走りにも注目!!



第8戦で優勝した
塚越広大

全日本F3選手権も折り返しとなるシリーズ第9戦、第10戦を迎える。今季はトヨタ勢が強く、開幕戦からO・ジャービス、大嶋和也、R・ストレイト、石浦宏明が優勝を重ねてきた。しかし第8戦、スタート前に雨が降り始め、それが強くなり、そして止み、最後はドライコンディションと言う難しいレースを制したのがホンダエンジンの塚越広大だった。最初から最後まで晴天用スリックタイヤで走り通し、1年ぶりの2勝目を飾ったのだ。そして鈴鹿は塚越はもちろんのこと、同じホンダ陣営の伊沢拓也(ともにホンダ・リアル)にとっても得意とするコース。そしてもうひとり、昨年FCJ(フォーミュラチャレンジ・ジャパン)での活躍でスカラ



ランキングトップ、R・ストレイトの走り

シップを獲得してF3にステップアップした中山友貴(ホンダ・戸田)にとっても鈴鹿はホームコース。SRS-F(鈴鹿サーキットレーシングスクール・フォーミュラ)でスカラシップを獲得してFCJ参戦を決めたのだ。だからこそ鈴鹿で負けるわけにはいかない。ホンダ勢の熱い走りに大注目だ。

FCJ (フォーミュラチャレンジ・ジャパン)

中盤戦を迎え新たな強敵出現の予感。 中嶋大祐、国本京祐と新鋭たちの戦いに注目!!



中嶋大祐

今季FCJ(フォーミュラチャレンジ・ジャパン)開幕戦となった鈴鹿ラウンド(3月17日決勝)。初レースでポール・トゥ・ウインを記録する鮮烈なデビューを飾ったのが中嶋大祐だった。その後、国本京祐が2連勝を飾ったが、第4戦で再び中嶋が優勝。18歳同士の若き精鋭の対決が注目されることになった。しかしFCJ2年目の国本に対し、昨年SRS-Fを卒業し、スカラシップを獲得した中嶋にとってはほとんどのコースが初体験。やはり国本を追う立場になってしまうが、鈴鹿だけは別。スクールで走り込んだコースだけに絶対の自信を持つからだ。狙うは当然連続ポール・トゥ・フィニッシュ。鈴鹿を完全に制覇すれば初年度のタイトル獲得もありうるのだ。FCJは、まずは中嶋の予選アタックに注目したい。



国本京祐の走り

Netz Cup Vitz Race

スポーツカーレースの入門クラスに位置するヴィッツレースは全国5地域に分かれてシリーズが展開されているが、今回は関西シリーズの第3戦が開催される。ナンバー付きの市販車で、改造はほぼ安全装置を付けただけに等しいこのマシンは、見た目はおとなしいものの、その操作は非常に難しく、マシンよりもドライバーの腕が勝敗を左右する。



夏の鈴鹿はレースもイベントも楽しさいっぱい!

●2007年度ミス日本グランプリの萩美香さん、準ミス日本の小島沙耶香さんが来場!●



「2007年度ミス日本グランプリ」の萩美香さん(23才・三重県出身)と「2007年度準ミス日本」の小島沙耶香さん(23才・奈良県出身)がフォーミュラ・ニッポン第5戦が開催される鈴鹿サーキットに7月8日(日)来場。フォーミュラ・ニッポン決勝の表彰プレゼンターなどに参加する予定。鈴鹿サーキットクイーンと一緒に、勝利の女神としてレースを盛り上げる。

■写真提供:ミス日本コンテスト事務局

■協力:株式会社 デイビースコット

■ミス日本グランプリ、萩美香さん

年齢: 23歳
出身: 三重県
職業: 立教大学大学院 法学研究科

■準ミス日本、小島沙耶香さん

年齢: 23歳
出身: 奈良県
職業: 大阪外国語大学 国際文化学科



●“マスターズ・オブ・フォーミュラ”●



■参加予定ドライバー■

中嶋悟氏
星野一義氏
木下正治氏
森本晃生氏
近藤真彦氏

7月8日(日)ピットウォーク中開催(予定)

※当日のマシンの状況や天候などにより、車両の変更や中止する場合がございます。
※ドライバーは都合により参加できない場合がございます。ご了承ください。

●2シーター同乗体験走行●



7月7日(土)、8日(日)両日、抽選(予定)で選ばれたファンを後部座席に乗せて、2シーターフォーミュラが鈴鹿サーキット国際レーシングコースを激走。

フォーミュラマシンの強烈なGを体験できるビッグチャンスだ!

■日 時: 7月7日(土)・8日(日)レーススケジュール終了後
■場 所: 国際レーシングコース、フルコース
■ドライバー: 光貞秀俊選手
■申込方法: 当日申込受付、JRPステージにて抽選実施予定
※詳細は後日鈴鹿サーキット公式HPにてご案内いたします。

●グランプリスクエアも楽しいイベントいっぱい!●

フォーミュラ・ニッポン 特設ステージ	7日(土)・8日(日)	ドライバートークショー、キャンギャルオンステージなど、楽しい様々なステージが行われます。
「クルマ」が当たる、順位当てオープンクイズ	8日(日)11:00締切	今回は決勝の1位予想。第2~4戦の当選者も来場予定!「Honda Fit」必当のポイントが聞けるかもしれない。
ランボルギーニ・サーキットチャレンジ	8日(日)	7日(土)に行われるランボルギーニ・サーキットチャレンジに参加するマシンをグランプリスクエアに展示。
フォーミュラ・ニッポンドライバーパネル	7日(土)・8日(日)	あなたが23人目のドライバー!?! 2007年シリーズに参戦の全22選手のパネルと一緒に記念撮影をしよう!

※詳細は鈴鹿サーキット公式ホームページ(<http://www.suzukacircuit.jp/>)をご覧ください。

※イベントの内容は変更になる場合がございます。ご了承ください。

前売り観戦券で金曜日も入場可能! お得な前売り観戦券好評発売中!

●チームサポーターズシートでお気に入りのチーム・ドライバーを応援しよう!●

★チームサポーターズシート特典

- 特典1: チームグッズプレゼント(プレゼントのないチームもございます。プレゼントは受付にてお渡しします。)
- 特典2: お申し込みの応援チームが優勝した場合は、表彰式でポディウム下の専用エリアまで入場することができます。
- 特典3: お申し込みの応援チームが優勝した場合は、1名様に表彰式プレゼンターとしてご参加いただけます。
(プレゼンター1名様は、7/1(日)までのお申し込み分より事前に抽選、ご本人に連絡させていただきます。)

★チームサポーターズシート参加チーム

mobilecast TEAM IMPUL	Forum Engineering Team LeMans
SG team 5ZIGEN	Arabian Oasis TEAM IMPUL
PIAA NAKAJIMA	INGING MOTORSPORT
DHG TOM'S RACING	DoCoMo DANDELION
AUTOBACS RACING TEAM AGURI	

チームサポーターズシート観戦券(税込) S1・S2・Eエリア付き(エリアは決勝日のみ有効)	
大人(パスポート付き)	中高生(入場のみ)
6,000円	ゆうえんち入園料

※小学生以下は、当日券をご利用の上、チームサポーターズシート観戦券をお持ちの中学生以上のお客様とのご同伴にて、チームサポーターズシートでご観戦いただけます。
(チームグッズのプレゼントなどの特典は、「SUZUKA ONLINE」チームサポーターズシート観戦券をご購入いただいたお客様のみを対象とさせていただきます。)

- インターネット SUZUKA ONLINE(<http://www.suzukacircuit.jp/>)限定販売
- お申込み受付期間: 7月1日(日)24:00まで(24時間受け付け)

●VIPスイートはグリッドウォーク付き!●

★VIPスイートご購入特典

- スペシャルランチボックス(決勝日7/8(日)のみ)
- フリードリンク(ソフトドリンク・ビール)
- 駐車券 ●大会公式プログラム ●お土産
- ピットウォーク(2日間対象) ●パドック入場(2日間対象)
- グリッドウォーク(フォーミュラ・ニッポン第5戦、決勝前のみ)
- S1・S2・Eエリア入場
- VIPテラス入場(V席購入者と共有)

VIPスイート(パーソナル販売)(税込)
土・日2日間有効・観戦券込

30,000円

- ※3歳以上有料(飲料・食事は大人同様となります。)
- ※駐車券は、4名様までのお申し込みにつき、1台分となります。
- ※パドックアクセスは、パドックパスBの扱いとなり、パドック・ピットウォークがお楽しみいただけます。またS1・S2・Eエリアでご観戦いただけます。(ピット上への入場はできません)
- ※VIPスイートは数に限りがございます。完売の際はご了承ください。
- ※お申込み後のキャンセルは一切できません。
- お申込みは鈴鹿サーキット電話通信販売(059-378-1100)まで
- 受付期間: 7月1日(日)16:00まで(受付時間10:00~16:00)

●ピットウォークは小学生以下無料!●

レーシングマシンをもっと間近で見たい! マシンやキャンギャルを撮影したい! お昼のインターバルに実施するピットウォークにぜひご参加下さい。お目当てのドライバーがピットから出て来てくれたらぜひサインをお願いしよう!



※写真はイメージです

小学生以下のお子様は無料でご参加いただけます。

ピットウォーク券(税込)		
	大人(中学生以上)	子供(3歳~小学生)
土曜日	2,000円	無料
日曜日	2,000円	

※開催当日現地にて販売となります。前売り販売はございません。
※ピットウォーク時に、脚立のお持込はご遠慮ください。

- 販売日時: 7月7日(土)・8日(日) 両日ゲートオープンから
- 販売場所: グランドスタンド S1席入口手前券売所

●パドックパスは特典がいっぱい！●

★パドックパスは特製カード型パドックパス！

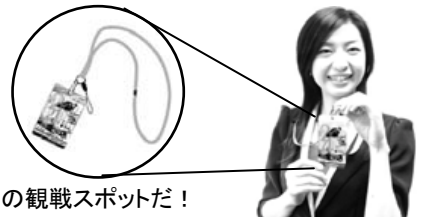
※前売りにてご購入の方には、必ず特製カード型パドックパスをお渡します。
 (当日、レース場入口指定席券売所にて、お渡しいたします。)
 ※子供(3歳～小学生)パドックパスは特製カード型パドックパスではありません。



★間近に迫力を感じたければ「激感エリア」がおすすめだ!!

メインストレートエンド イン側に設置される「激感エリア」は迫力満点の観戦スポットだ！
 ※激感エリアへのご入場にはパドックパスが必要です。
 ※各レース決勝スタートから3周まで、安全確保のためご入場いただけません。

激感エリアの様子



※写真は2&4レースでのパドックパス

★ワンランク上の観戦エリア「ホスピタリティーブース」

レースの迫力をより間近に感じていただけ、ゆったりとより快適にご観戦いただけるのが、ピット上のホスピタリティーブース。マシンのピットイン、ピットアウトのチームの戦略、素早いピット作業の迫力を、まさに真下にご覧いただけます。大屋根の下でゆったりとモニター観戦できるのもホスピタリティーブースの魅力です。

●ホスピタリティーブース、キャンギャルPHOTOセッションに入場可能！●

各チームのキャンギャルが大集合！パドックパスA購入者だけの特別なPHOTOセッションを用意しました。

●ホスピタリティーブースにファミリー向けキッズスペース登場●

ファミリーの皆さんに、快適に過ごしていただけるよう、ホスピタリティーブースにキッズスペースを設けます。

※ホスピタリティーブースへのご入場にはパドックパスAをお求め下さい。

パドックパス (税込) 別途観戦券必要		
	大人(中学生以上)	子供(3歳～小学生)
パドックパスA	12,000円	2,000円
パドックパスB	6,000円	1,500円

※パドックパスのご購入には観戦券が別途必要です。

※パドックパスAはピット上ホスピタリティーブースでもご観戦いただけます。パドックパスBはピット上へのご入場がいただけません。

※パドックパスをご購入いただいたお客様は、S1・S2・Eエリアでのご観戦、激感エリアへのご入場、ピットウォークもお楽しみいただけます。

※ホスピタリティーブース上から直接ピットウォークの並び列にお入りいただく事はできません。パドックの並び列より、順番にお並びいただきます。

※前売パドックパス完売の場合、当日パドックパスは販売いたしません。

観戦環境向上宣言!

レースが10倍面白くなる!? Pit-FM活用術

携帯FMラジオ(とイヤホン)を、ぜひ会場に持って来てね!

モンスターマシンの爆音の中、場内実況が聞き取れない場合でも携帯FMラジオがあれば安心。主要な観戦席に場内実況の音声をラジオの周波数に乗せ配信する『Pit-FM』はレース観戦の定番だ。レース初心者にはわかりにくいペナルティやレース展開をより分かりやすく実況する『ビギナーおまかせ大放送774』も放送!

●周波数76.0MHz・・・場内実況放送

●周波数77.4MHz・・・ビギナー観戦者用放送

★観戦エリアのご案内



●S1・S2・Eエリア●

サーキットビジョンで快適観戦

ご好評につき第5戦でも、E席向けのサーキットビジョンを追加。サーキットビジョンの映像で展開を確認しながら、それぞれのエリア席で様々な角度からのご観戦をお楽しみください。

※E席向けの仮設ビジョンは、日曜日のみでの放映となります。

●V席はVIPテラス、S1・S2・Eエリアにも入場可能！●

S2席の上部に位置するV席は、グランドスタンドの中でも一番高い位置にあり(VIPスイート&テラスを除く)最終コーナーから1コーナーまでをほぼ見渡すことが出来る。また、決勝レースのポールポジション位置が目の前! スタートへの緊張感が高まる中、グリッド上に並ぶ上位チームの様子を見ることが出来る絶好のポジションだ。そして今回、V席購入者はV席上部にあるVIPテラスに入場できる特典が付いている!

※V席の詳細は次ページをご覧ください。

前売り観戦券 (税込)		
大人 (パスポート付き)	ペア(大人2名) (パスポート付き)	中高生 (入場のみ)
5,000円	9,000円	1,600円

前売り指定席券 (税込) 決勝日のみ有効・別途観戦券必要	
V席	S1・S2・Eエリア
5,000円	1,500円

前売りエリア指定席券付き観戦券 (税込) S1・S2・Eエリアは決勝日のみ有効 パスポート付き(土・日いずれか1日)	
大人観戦+S1・S2・Eエリア	6,000円

家族で遊ばせろ!!

前売りファミ得チケット

観戦券、S1・S2・Eエリア(エリアは決勝日のみ有効)と、パスポート(土・日いずれか1日)がセットになって

大人2名 + 子供1名 セットで

(3歳以上 高校生以下)

なんと! 13,000円 (税込)

※追加の場合1名に付き大人6,000円、子供(3歳以上高校生以下)3,000円

当日観戦券 (税込)		
	大人	中高生
予選日(土)	ゆうえんち入園料	
決勝日(日)	6,000円	ゆうえんち入園料

当日指定席券 (税込) 決勝日のみ有効・別途観戦券必要	
V席	S1・S2・Eエリア
5,500円	2,000円

スペシャルボックス (税込) 人数分のピットウォーク券付き プログラム(1室1冊)付き 別途人数分の観戦券必要	
1室/2名様まで	1室/3名様以上
15,000円	25,000円
※開催当日現地にて販売となります。前売り販売はございません。 ※1室6名様までのご利用となります。 ■販売日時:7月7日(土)・8日(日) 両日ゲートオープンから ■販売場所:レース場入口指定席券売所	

- ※3歳～高校生以下の方の当日券はゆうえんち入園料となります。中高生／1,600円・小学生／800円・3歳～未就学児／600円
- ※高校生以下の方は、S1・S2・Eエリアへ無料でご入場いただけます。
- ※観戦券(一部券種を除く)にセットされているパスポート(レース開催日いずれか1日有効)は「ゆうえんちのりもの乗り放題モトピアパスポート」となります。
- ※指定席券は決勝日のみ有効です。
- ※ペアチケットは前売りのみの発売で、2名セットとなります。
- ※エリア指定席券付き観戦券は前売りのみの発売となります。
- ※エリア指定席券ご購入のお客は、グランドスタンド前とE席前のサーキットビジョンにてレースを快適にご観戦いただけます。
- ※V指定席券をお持ちの方は、VIPテラス・S1・S2・Eエリアへの入場ができます。
- ※V席をご利用の場合、3歳以上共通料金となります。
- ※VIPテラスのご利用は、V席指定席側から入退場をお願いします。(VIPスイートにあるエレベーターはご利用いただけません。)
- ※前売指定席券完売の場合、当日指定席券は、販売いたしません。お早めにお求めください。

■ご案内:

- ※前売り観戦券、前売りファミ得チケット、前売りエリア指定席券付き観戦券をお持ちの方は、7月6日(金)もご入場いただけます。
- ※大人のお客は、ゆうえんちモトピアパスポートでは、本レースをご観戦いただけません。
- レース決勝日のゆうえんちモトピアパスポートをお持ちの大人のお客が、本レースご観戦をご希望の場合は、別途追加料金1,800円にてご観戦いただけます。
- 中・高生のお客は、ゆうえんち入園料のみで本レースをご観戦いただけます。

チケットのお求めは	券種によってお取り扱いのない窓口もございます
■鈴鹿サーキットレースチケットセンター	7月7日(土)まで(販売時間 10:00～17:00)
■鈴鹿サーキット電話通信販売 ☎059-378-1100	7月1日(日)まで(販売時間 10:00～16:00)
■インターネット SUZUKA ONLINE [http://www.suzukacircuit.jp/]	7月1日(日)まで (24時間受付)
7月7日(土)まで販売中(一部販売期間が異なる店舗がございます。)	
●電子チケットぴあ ●セブンドリーム・ドットコム ●イープラス ●CN プレイガイド ●ローソンチケット ●セブンイレブン	
●ファミリーマート ●サークルK ●サンクス ●am/pm ●全国主要プレイガイド ●JTB ●近畿日本ツーリスト ●日本旅行	
●トップツアー ●名鉄観光 ●鈴鹿サーキット各営業所<東京・名古屋・大阪・三重>	
※コンビニには時間帯に制約があります。	
※販売店によって、一部取り扱いのない券種があります。	

チケットに関するお問い合わせ：鈴鹿サーキットレースチケットセンター ☎059-378-1111(代)